



飛鶴の森林から

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

第16回釧路湿原自然再生協議会

12月14日(火) 釧路市「湿原の風アリーナ釧路」で、個人委員12名、23団体各員及び関係行政機関などが出席して釧路湿原自然再生協議会が開催されました。

今年第五期目がスタートし、長年にわたり会長を務めてきた新庄久志氏が会長を退任し、新たな会長にはこれまで会長代理を務めていた北海道大学大学院教授中村太士(森林再生小委員会委員長)氏、会長代理に高橋忠一(再生普及小委員会委員長)氏が選出されました。

その後、各小委員会から1年間の活動(取組)状況と全体構想5年目の施策の点検等について報告を受けて活発な意見交換が行われました。

最後に、釧路湿原自然再生協議会の今後の運営についての課題と対応について提案があり、「流域全体を見通した現状の把握と評価をきちんと行う」、「必要に応じてワーキンググループによる検討を行う」ことなどを確認して協議会を終了しました。

(写真左から：新会長に就任した中村氏、森林再生小委員会報告、全体討論の様子)



第16回再生普及小委員会

11月30日(火) 釧路湿原自然再生協議会第16回再生普及小委員会が、釧路合同庁舎で開催されました。再生普及小委員会は協議会の下に設置された6つの小委員会の一つで、他の小委員会毎の活動について情報を共有し、また釧路湿原を用いた環境教育の実施について検討を進めています。

当日は個人会員13名、団体委員14機関及び関係行政機関が参加し、「再生普及行動計画ワーキンググループ」及び「環境教育ワーキンググループ」の経過報告を受け、活発な意見交換を行いました。

当センターからは、今年8月に行った新任の教員に対する環境教育研修の事例を紹介しました。その後、釧路湿原自然再生全体構想が策定後5年目を迎えたことでの施策の点検等について活発な意見交換を行いました。



意見を述べる中島所長



意見交換を行う小委員会メンバー

子ども達が「マイ箸づくり」に挑戦

12月18日(土) 子どもたちの森林・自然環境活動支援事業「森林と木とのふれあい体験」(くしろ森と緑の会、釧路総合振興局共催)が釧路町別保公園ツリーハウス館で開催され、当ふれあいセンターでは「マイ箸づくり」で協力を行いました。

当日の参加者は、振興局の呼びかけで集まった小学生低学年から高学年の親子8組19名でした。

初めに、当センターによる木の工作「箸づくり」を行いました。安全のためナイフ等の刃物は使用せず、棒ヤスリ・紙ヤスリを使用していました。作り方は、箸型にカットした四角い木の四つ角をヤスリで削り段々と細くして箸をつくる方法を選択しました。子どもたちは黙々とヤスリで削り、少し太めの「私だけのお箸」を作り上げました。仕上げにクルミの油をぬると、木目や木の色が鮮明になりその出来ばえに皆大喜びしていました。

その後、振興局による「ミニツリー作り」が行われ、子どもたちは、木の輪切りを台にしたミニツリー作りに奮闘しました。クリスマスを目前にして、思い思いの飾り付けを行い、個性あふれたミニツリーを作り上げました。

熱心に指導



マイ箸作りの参加者たち

釧路湿原ラムサール条約登録30周年記念事業 『湿原たからばこ』



センターのパネル展示



再生事業の説明をしている所

12月19日(日) 釧路国際ウエットランドセンター主催により、釧路市市民文化会館において釧路湿原ラムサール条約登録30周年記念事業「湿原たからばこ」が行われました。展示ホールでは釧路湿原を対象に活動する団体や個人の取組を紹介する展示コーナーが設けられ28団体が参加しました。

当センターからは、シラルト口沼上流部で行われている森林再生(雷別地区自然再生)事業とボランティアで行われている各種事業を紹介するパネル展を行いました。

小ホールでは、シンポジウム「未来へはばたく釧路湿原」が行

われ、国際連合大学高等研究所名執芳博氏による講演「ラムサール条約と釧路湿原」が行われました。また、釧路湿原自然再生協議会こども発表会も行われ、標茶高等学校釧路湿原再生プロジェクト、こどもエコクラブくしろ、釧路湖陵高等学校の川村礼美さん達により釧路湿原で行っている活動の報告がありました。

釧路湿原に接しているこの地域で生活する住民にとって、湿原の保護は避けて通れない大きな課題です。釧路湿原を守って行くため、未来に向かって豊かな自然環境を残していくための方法を考える良い機会になったことと思います。

お知らせ

雷別自然再生事業地で野生動物生息調査のため次の日程で自動撮影カメラを設置します。

予備調査 : 12月8日~27日(3週間)

本調査 : 2月に3週間実施予定

人の動き

12月1日付け人事異動で所長が替わりました。

転出

・中島章文 北海道森林管理局指導普及課長へ

転入

・宮本元宗 北海道森林管理局保全調整課
自然遺産保全調整官より

よろしくお願ひします。

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp